

世界を知る

2022.11.18

世界全体

感染者数

6億3378万97

死者数

660万49

世界全体

感染者数

6億3628万1679人

死者数

661万4870人

世界全体

感染者数

1億6446万4039人

死者数

340万9471人

1 100,000



感染者数

死者数

< 前日へ

10/26

10/27

10/28

< 前日へ

/4

11/5

11/6

11/7

11/8

11/9

11/10

11/11

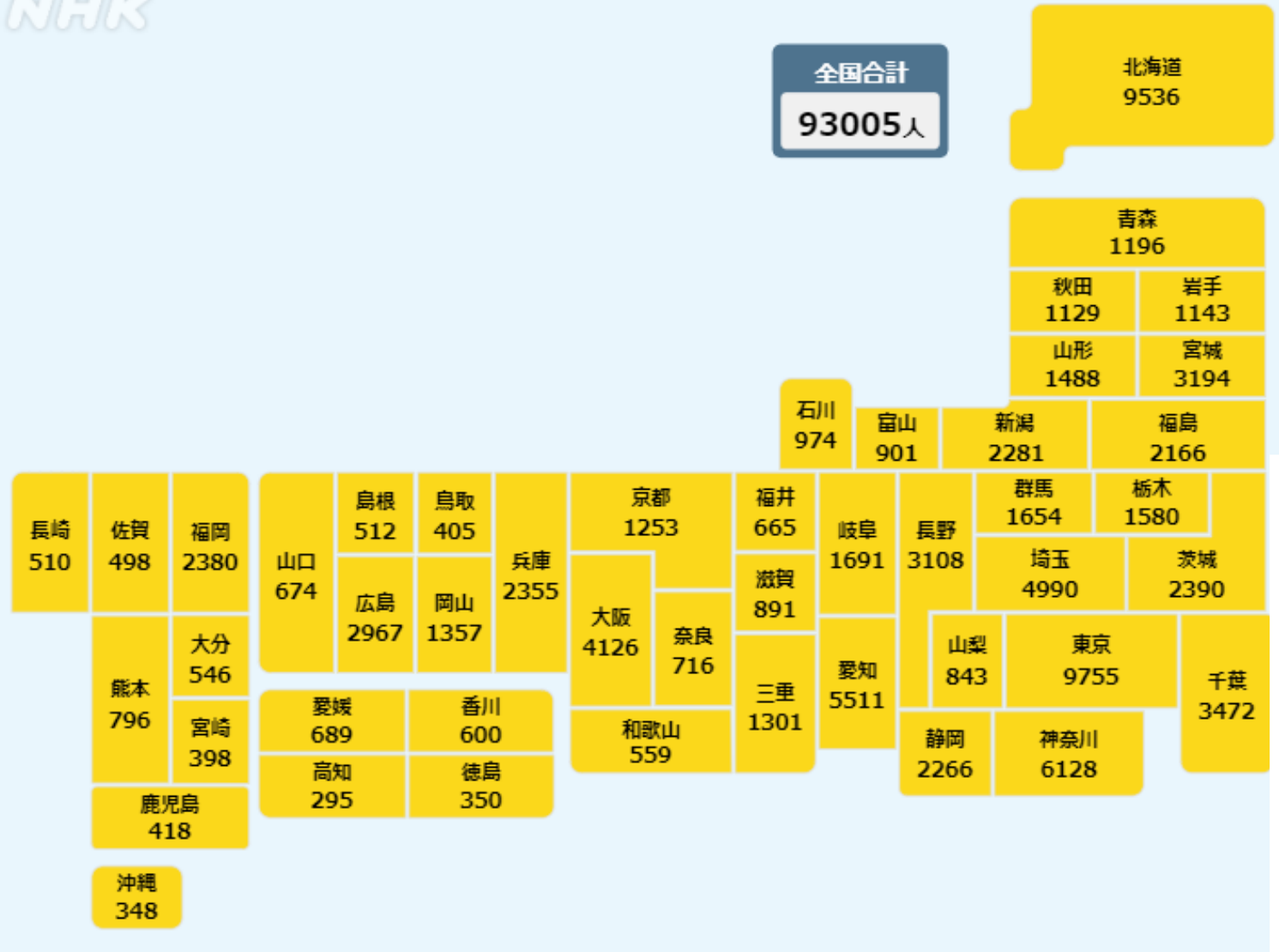
11/12

11/13

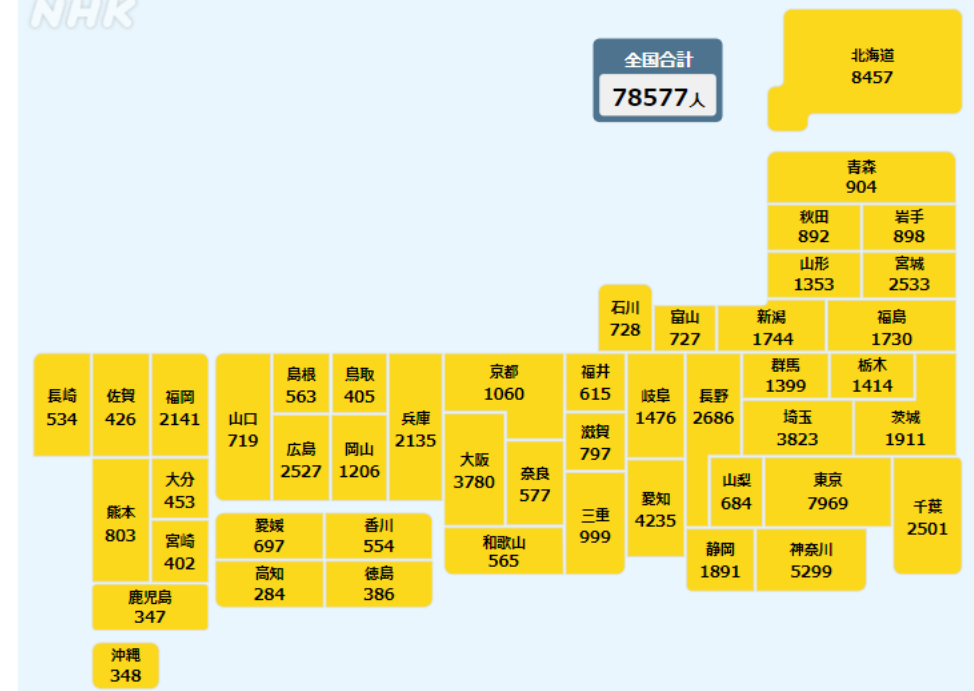
11/14

11/15

2022
11/16



1週間で1.5万人が増加
日本のデータの取り方
と外国の取り方の違い
もあるので単に比較は
できない



国内の感染者数（1日ごと）



厚生労働省まとめ 11月17日までの情報を表示

東京都 ▼

● 1日ごとの発表数 ○ 累計



AIの予想では
36000人以上

前提
感染力1.2倍
ワクチン接種が進む

2023.1

2023.2

BA5 の変異種 BQ1 ケルベロス

- 欧米の感染状況を見ての判断
- 重症化は低いと言われるが**感染スピードは速い**
- 2度目の感染も良く見られる
- のど痛が顕著といわれるが基本的にはBA5と同じ
- ワクチン接種をしているとクシャミや鼻水程度の場合あり



- インフルエンザとの区別が難しいので発症したら両方の検査を受けたほうが良い

日本国内のワクチン接種状況

1回目 (104,331,611人) 81.4%

2回目 (102,965,530人) 80.4%

3回目 (83,899,898人) 66.6%

4回目 (45,303,376人) 188.6万人増

首相官邸の情報をもとに表示 11月17日公表

- 伸びないワクチン接種数
- 大量に廃棄されるワクチンがある一方受けられない人も

従来型ワクチン、期限切れで大量廃棄へ 政令市の在庫 220万回分

🔒 有料記事 新型コロナウイルス

2022年10月5日 18時00分

[list](#)



従来型のモデルナ社製新型コロナウイルスワクチン



新型コロナウイルスのオミクロン株に対応した新しいワクチンの接種が各地で始まる中、従来型のワクチンの多くが廃棄される見通しになっている。朝日新聞が20の政令指定市に取材したところ、9月下旬の在庫は約220万回分。従来型は主にこれから1~2回目の接種を受ける人に使われることになっているが予約は少なく、在庫の多くは使われないとみられている。

朝日新聞がすべての都道府県と政令指定市などに従来型の在庫量と廃棄見込みを聞

いた。都道府県では、市町村に発送後、在庫量を把握していないところが多かった。

- モデルナ製が多い
- 4月の段階で6000万回分が廃棄
- 単価2600円
- 実際にどれだけの量が廃棄されたか不明

一週間を振り返って

- 11月11日 そごう・西武を米投資ファンドに売却
- 11月12日 ウクライナで日本人義勇兵が戦死

20代の日本人義勇兵が死亡 東部戦線で戦闘中—ウクライナ

2022年11月11日13時32分



ウクライナの東部戦線で戦うウクライナ軍 = 10月31日、東部ドネツク州バフムト (AFP時事)

ロシア軍の侵攻が続くウクライナ東部での戦闘で、日本人義勇兵の男性1人が死亡したことが11日、分かった。ウクライナ軍関係者が日本人の姓名に言及した上で、「われわれの戦友が戦闘中に死亡した」と時事通信に述べた。松野博一官房長官も同日午前の記者会見で、戦闘に参加していた20代の邦人男性が現地時間9日に死亡したと語った。ロシアのウクライナ侵攻による日本人の死者は初めてとみられる。

「日本人1人ウクライナ入り」 外国兵として韓国人4人死亡—ロシア発表

男性はウクライナ東部戦線で反転攻勢作戦に参加した部隊に所属。戦闘中に部隊が攻撃に遭い、命を落とした。ウクライナ軍は家族と連絡を取り、遺体の送還作業に着手している。松野長官によれば、男性の死亡は現地時間10日に確認され、在ウクライナ日本大使館が家族への連絡などの支援を行っている。

初の犠牲者

- 九州出身の28歳男性
- 自衛隊で2年勤務
- 複数名が義勇兵として活動
- 政府は禁止
- 今後もあるかも

一週間を振り返って

- 11月11日 そごう・西武を米投資ファンドに売却
- 11月12日 ウクライナで日本人義勇兵が戦死
- 大阪で二歳児車中に置き去りで死亡

密閉車内に9時間放置か 死亡の2歳児 大阪・岸和田

2022/11/13 16:12



社会 | 事件・疑惑 事故・火災 地方 | 近畿 大阪



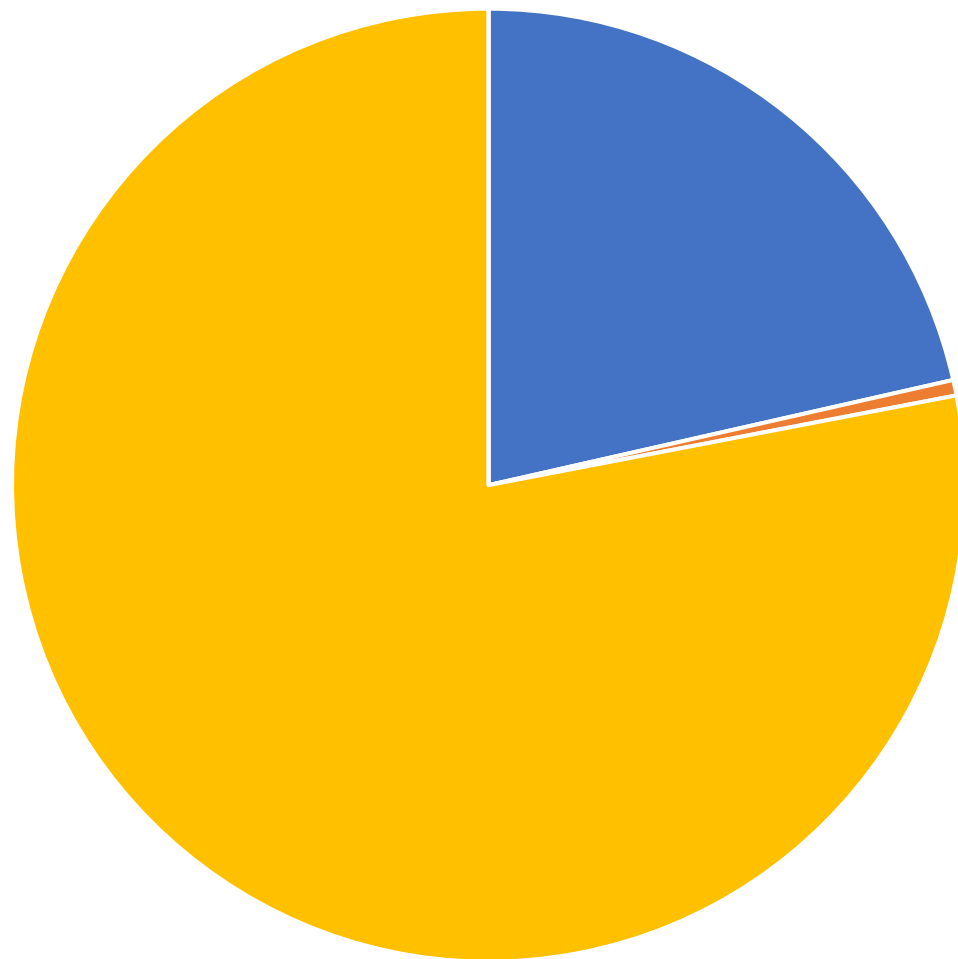
大阪府警本部 = 大阪市中央区

大阪府岸和田市で女兒（2）が乗用車内に取り残され死亡した問題で、女兒はチャイルドシートに固定された状態で約9時間放置された可能性のあることが13日、大阪府警への取材で分かった。朝に保育所へ預けたと思い込んだ父親（33）が、後部座席の女兒に気づかず1人で車を降りたとみられる。熱中症の可能性があり、府警が詳しい経緯を調べている。

> 2歳女兒が車内に置き去りにされ死亡

府警によると、12日午後5時25分ごろ、同市尾生町の市立保育所駐車場に止めた乗用車内でぐったりした状態の女兒を父親が発見し、119番した。女兒は後部座席のチャイルドシートに固定されていた。病院へ搬送されたが、まもなく死亡が確認された。

車の中に子どもを残したことがあるか



三洋貿易「子どもの車内置き去り実態調査

20～69歳 2652人に調査

「ない」 2069人 78.0%

「ある」 569人 22.0%

うち意識せずに残したと答えた人が14人 0.5%

赤ちゃん忘れ症候群



子どもを車内に残した人が5人に1人の割合で存在する

赤ちゃん忘れ症候群

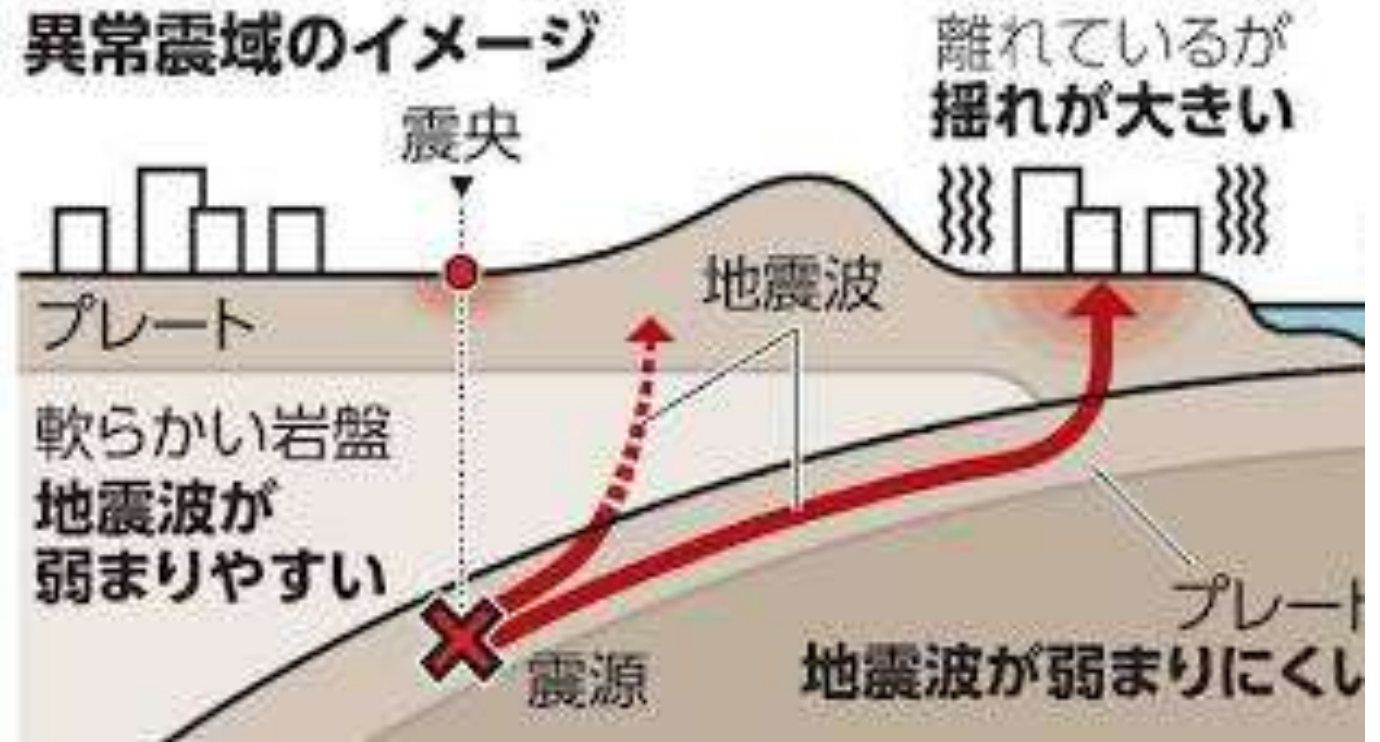
- 今回のような事件が多発している
- 特に今回のように親が忘れてしまったという事案
- 「親が不注意すぎる」と非難するのは容易
- 脳はマルチタスクを行える
- いつも行っている作業は無意識にできる
- そこに思い込みや通常との変化が起きると忘れる
- ストレスが多く、睡眠不足などが起きると記憶低下
- 今回のようなことは容易に起きてしまう
- 警報装置やマニュアル化もあるが生活改善も大切

一週間を振り返って

- 11月11日 そごう・西武を米投資ファンドに売却
- 11月12日 ウクライナで日本人義勇兵が戦死
- 大阪で二歳児車中に置き去りで死亡
- 11月13日 日米韓首脳会談 北朝鮮の核実験に警告
- 11月14日 サハリン1 日本企業の権益維持を許可
- 関東・東北で異常震域による地震が発生

異常震域による地震が発生

- 震源が深い場合に発生することがある
- 震源の真上に軟質岩盤があると地震波減衰



- 列島の下に潜り込んでいるプレートは地震波が伝わりやすい
- 遠く離れた地域で大きく揺れることになる

一週間を振り返って

- 11月11日 そごう・西武を米投資ファンドに売却
- 11月12日 ウクライナで日本人義勇兵が戦死
- 大阪で二歳児車中に置き去りで死亡
- 11月13日 日米韓首脳会談 北朝鮮の核実験に警告
- 11月14日 サハリン1 日本企業の権益維持を許可
- 関東・東北で異常震域による地震が発生
- 11月15日 ポーランドにミサイル着弾犠牲者が出る

- ウクライナ国境に近いポーランド領内に落下
- ロシア製のミサイルと確認
- 2人の死亡が確認
- 誰がどこから発射したか
- アメリカは直ぐにロシアではないと発表
- ウクライナの迎撃ミサイルか
- ウクライナ側は否定
- NATOとしては大きな問題

ポーランドにミサイル

ウクライナの迎撃弾か

ウクライナ国境近くのポーランドの村に16日、ミサイルが落下し、2人が死亡した。ロシアによるウクライナ侵襲後、周辺国で戦死した者が出たのは初めてのケースとなる。ポーランドは北大西洋条約機構（NATO）の加盟国で、米露や他国が対応を緊急協議。ミサイルがどこから発射されたのかは明らかではないが、ウクライナ側の迎撃ミサイルだった可能性が高まっている。

▼この日NATO緊急会議 11日開議 14日社説

2人死亡 NATO初の被害



ポーランド東部部の村で16日、爆発現場の穴を調べる作業員ら＝ロイター

ポーランド政府によると、16日午後3時初分ごろ、ウクライナ国境からミサイルが落下した。ウクライナ側の村にロシア製のミサイルが撃墜されたという。

米露も加盟するNATOは集団防衛の任務を持つため、加盟国への攻撃ならば、集団的自衛権の発動など重大な局面につながりかねない。ウクライナのゼレンスキー大統領は15日夜、「集団安全保障に対するロシアのミサイル攻撃だ。行動が必要だ」と強調した。一方、ロシアは疑念を否認。AP通信は16日、米政府関係者の話として、初期



段階の調査では、撃墜したミサイルは、ウクライナ軍が迎撃のために発射したものとみられると伝えた。ポーランドへのミサイル撃墜は、各国首脳が主要20カ国・地域首脳会議のためのインドネシア・バリ島に集まっている最中に起きた。日米英など主要7カ国（G7）もNATO加盟国の首脳らは16日、緊急会合を開き、ロイター通信はNATO関係者の話として、バイデン米大統領が、撃墜したのはウクライナによる迎撃ミサイルとの見方を示したと報じた。共同声明では、ポーランドによる調査を「完全に支持する」と表明。ロシアによるウクライナへのミサイル攻撃を「野蠻な攻撃」と非難した。会合後、バイデン氏は記

国境

今回のポイント

ロシアがミスを狙ったか
ウクライナが制御できなかったか

ロシアの巡航ミサイル
ウクライナの迎撃ミサイル
ミスしたら自爆

Kh101 96発 射程5500Km
制御能力が低い可能性も
ロシアの巡航ミサイル

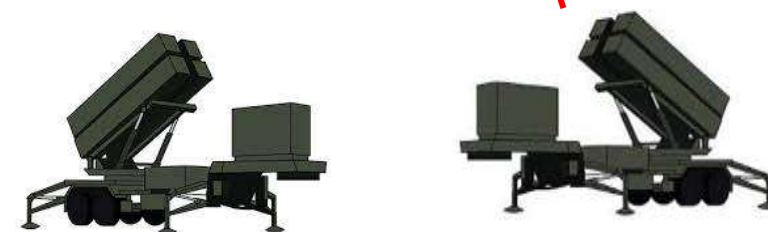
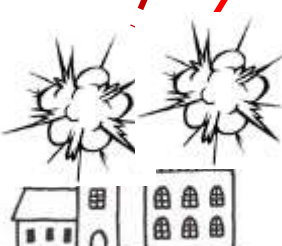
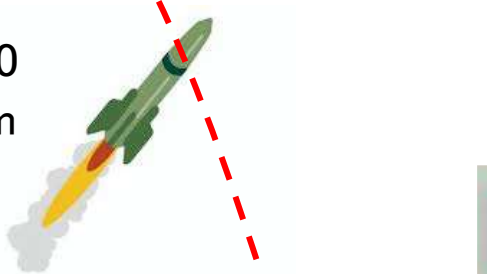


米露NATOはウクライナの迎撃ミサイル
ウクライナはロシアの巡航ミサイル



今後の調査によるが結果によって大問題

ロシア製S300
射程150Km



ウクライナの迎撃ミサイル

この問題で危惧する事

- ポーランドが被害を受けたこと
- ロシアの攻撃であればNATOの報復が生ずる可能性
- アメリカは直ぐにロシアのモノではないと発表
- NATOも不幸な出来事であるが原因はロシアと発表



苦勞を共にした軍部の報告を信用した

- ゼレンスキー大統領はロシアだと言い張る
- このまま言い張ると欧米側と亀裂が生ずる
- 武器等の支援を受けられなくなる

ロシアに有利な展開

一週間を振り返って

- 11月11日 そごう・西武を米投資ファンドに売却
- 11月12日 ウクライナで日本人義勇兵が戦死
- 大阪で二歳児車中に置き去りで死亡
- 11月13日 日米韓首脳会談 北朝鮮の核実験に警告
- 11月14日 サハリン1 日本企業の権益維持を許可
- 関東・東北で異常震域による地震が発生
- 11月15日 ポーランドにミサイル着弾犠牲者が出る
- 11月16日 G20 戦争非難の首脳宣言 核の脅し許さず
- 月探査計画アルテミスの発射成功

アルテミス1 打ち上げ

半世紀ぶりの月へ 計画の第1歩

米航空宇宙局（NASA）は、再び人類の月面着陸をめざす「アルテミス計画」の第1弾「アルテミス1」として、新型ロケットSLSを、米東部時間16日午前1時47分（日本時間16日午後3時47分）、フロリダ州のケネディ宇宙センターから打ち上げた。約8分後、宇宙船オリオンがSLSから分離され、月に向かった。（ケネディ宇宙センター（フロリダ州）＝玉木祥子）

月面着陸は2年後の予定で、アポロ計画以来、半世紀ぶりとなる。月の資源開発などを進めるといふ。

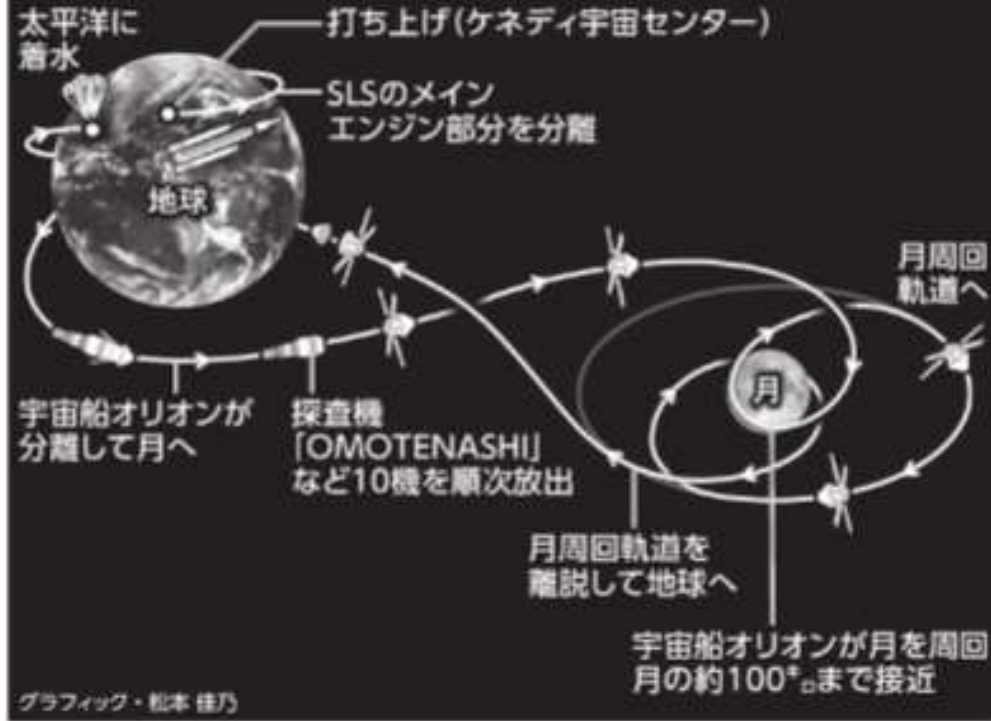
NASAによると、オリオンは無人数での試験飛行でSLSから分離された後、太陽光パネルを広げて月をめざす。打ち上げから6日目は月まで約100万キロメートルに接近して月の周回軌道に入る。210万キロメートルの距離を25日と11時間36分かけて飛び、米東部時間12月11日昼ごろに、太平洋に着水する。

SLSにはオリオンのほか10機の小型探査機が搭載された。そのうち二つは日本の探査機。「OMOTENASHI（オモテナシ）」と「EQUULEUS（エクレウス）」は、月への到達や月周辺の調査などそれ



打ち上げられた新型ロケットSLS
＝NASA提供

アルテミス1の飛行経路



3段階に分けて行う

2022年	第1段階	無人
2024年	第2段階	有人
2025年	第3段階	着陸

2で有人飛行 3で月面着陸

速報

「アルテミス計画」月探査のため

every.

無人の大型ロケット打ち上げ

アルテミス計画“第1弾”

地球



すべて**無人**
宇宙飛行士

マネキン



月

約100km接近
宇宙船オリオン



負担・放射線 **測定**

日本の支援計画

HAKUTO R ルナクルーザー H3型ロケット



一週間を振り返って

- 11月11日 そごう・西武を米投資ファンドに売却
- 11月12日 ウクライナで日本人義勇兵が戦死
- 大阪で二歳児車中に置き去りで死亡
- 11月13日 日米韓首脳会談 北朝鮮の核実験に警告
- 11月14日 サハリン1 日本企業の権益維持を許可
- 関東・東北で異常震域による地震が発生
- 11月15日 参院文教委員会で中条議員が失言
- 11月16日 G20 戦争非難の首脳宣言 核の脅し許さず
- 月探査計画アルテミスの発射成功
- 11月17日 日中首脳会談が開かれる

日中首脳会談が開かれる

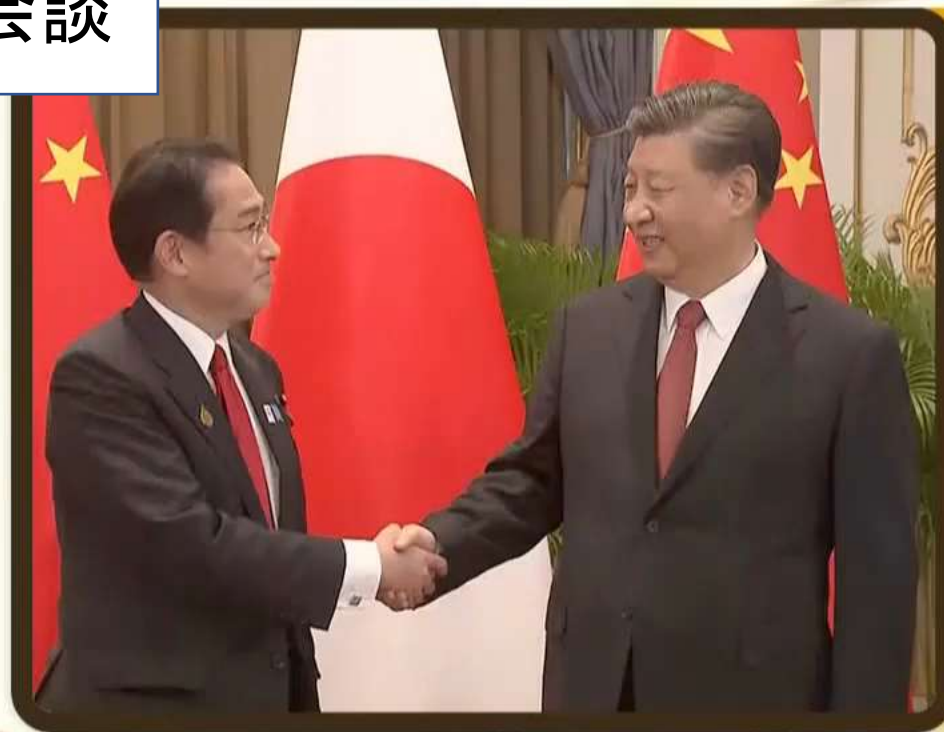
- 8月に行われた東アジア首脳会議外相会談
- 林外相の発言 中国の弾道ミサイルが日本の排他的経済水域を含む日本近海に着弾を非難
- 東シナ海及び南シナ海における、力を背景とした一方的な現状変更の試みの継続・強化への強い反対

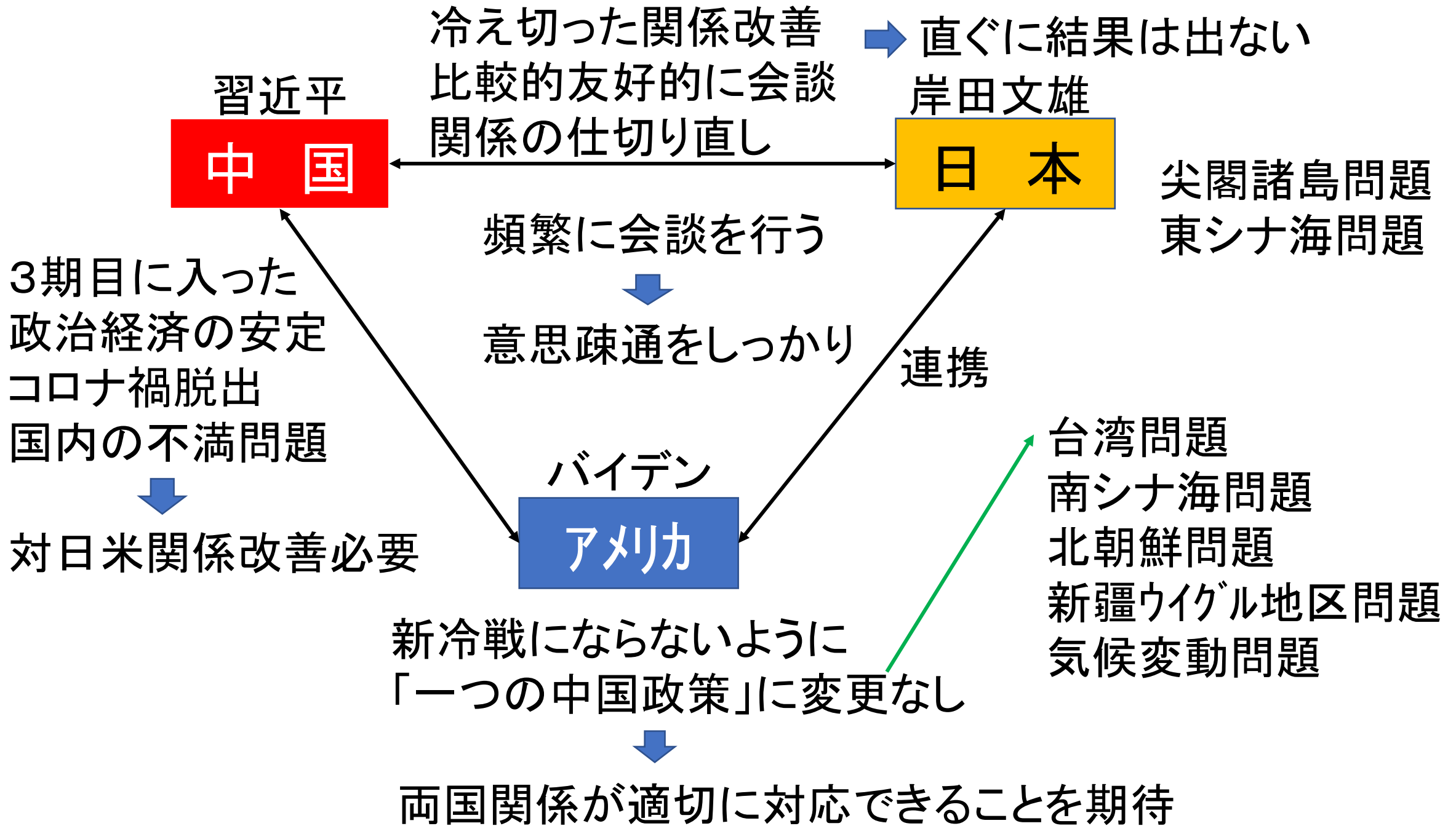


日本が懸念している様々な問題を提起

- 王外相が退席
- 今回の岸田・周会談に注目

3年ぶりの日中首脳会談





報道の内容について周近平・
トルドー氏が立ち話



G20サミット

SNSより

20カ国・地域首脳会議(G20サミット)に合わせて

相次いで行われた首脳会談

東アジア首脳会議

バイデン大統領も参加

- 11月13日 東アジア首脳会議 カンボジア プノンペン
- ウクライナ情勢
- 北朝鮮のミサイル発射
- 東シナ海・南シナ海、台湾、香港及び新疆ウイグル自治区等の問題
- ミャンマー情勢
- 紛争や対立が全面的な話題となる
- 地域協力を強化していく意向

東アジアサミットでロシア批判続出



プーチン氏のG20欠席を明言 インドネシア調整相

11/10(木) 7:48 配信 289



ロシアのプーチン大統領= 7日、モスクワ近郊トベリ州 (EPA時事)

【ジャカルタ時事】インドネシアのルフット海事・投資調整相は10日、ロシアのプーチン大統領がバリ島での20カ国・地域首脳会議 (G20サミット) を欠席すると語った。

【写真】ロシアのラブロフ外相

ラブロフ外相が代わりに出席するという。地元メディアが報じた。

ルフット氏は「プーチン氏は (G20サミットに) 出席しない。外相を派遣すると言っていた」と滞在先のバリ島のホテルで述べた。

米ブルームバーグ通信も9日、プーチン氏がG20サミットを欠席すると伝えた。「プーチン氏を戦犯と呼ぶバイデン米大統領をはじめ、各国首脳と衝突する可能性を回避する」

- G20出席に意欲的だったプーチン大統領が出席を断念
- ラブロフ外相が出席
- ウクライナ侵攻について各国の首脳と衝突することを回避か

G20首脳会議

- 11月15・16日 インドネシアのバリで開催された
- 定番の参加者全員の写真撮影は中止 ロシアと写りたくない
- 15日 午前「食料・エネルギー安全保障」
- 午後には新型コロナウイルス対策など「保健」
- 16日 デジタル技術を駆使して社会問題を解決に導く「デジタルトランスフォーメーション」について
- ウクライナ情勢については欧米が批判 中印の出方は

薄氷の採択 折れたロシア

G20首脳宣言 各国、戦争終結訴え

ウクライナ情勢をめぐって一枚岩にならなかった主要加盟国・地域（G20）が、首脳会議（サミット）で合意文書の採択に苦戦を続けた。インドネシア・バリ島で開かれたG20サミットは16日、ポーランドへのミサイル発射で主要7カ国（G7）の緊急会議が開かれる予想外の動きもあったが、首脳宣言を採択して閉幕した。議程不全と指摘された日印は最終局面で踏みとどまった。▼2面参照

16日午前8時、バイデン米大統領が滞在するホテルにマクロン仏大統領やシヨルツ独首相が続々と到着した。ポーランドへのミサイル発射について対応を協議するG7と北大西洋条約機構（NATO）の緊急会議だった。

同じころ、G20議長国インドネシアのジョコ大統領は森林公園で首脳らを集めていた。マンダローラを離れるイベントが午前9時から開かれる予定だった。

「午前中のイベントはすべて中止となった」。そんな情報が駆け巡った。前夜までにはほぼ合意していた首脳宣言が採択されるのか、不透明感が濃かった。

午前9時半過ぎ、緊急会議は終わった。バイデン氏は記者団の取材に応じ、ミサイルがロシアから発射されたかどうかについては「可能だが低い」との見方を示した。首脳らは森林公園に向かった。

午後、ジョコ氏が「首脳宣言が採択された」と発表すると、サミット会場では大きな拍手が起った。

宣言についてインドネシア政府高官は「とても多くの困難な仕事だった」と褒めた。岸田文相は「困難な状況の中にあっても首脳宣言を取りまとめたジョコ大統領の強いリーダーシップに敬意を表したい」と語った。

ロシアが7月にウクライナに侵襲して以来、G20のすべての閣僚会議では共同声明が見送られた。首脳宣言も採択できないとの悲観論が早くから広まった。だがサミットでは「中立の立場を成る首脳から戦争終結と平和的解決を求める発言が相次いだ。ト



G20首脳会議の開会式で首脳宣言が採択され、立ち上がって拍手する各国首脳ら＝16日午後2時6分、インドネシア・バリ島、代表撮影

G20合意文書発表

- ロシアのウクライナ侵攻に伴う国際社会の機能不全
- ロシアを批判する内容まとまらず
- 今回ポーランドのミサイル被害問題
- 中立国にも戦争批判が生ずる
- 食糧安全保障への課題全面に
- ロシアへの配慮を含みながらも合意文書を発表できた



 | **INDONESIA**

ANN

NEWS

インドネシア・バリ島
日本時間午後6時半すぎ



新着
news

“初の対面、米中首脳会談始まる”

国連臨時総会でロシア批判増出

NEWS



国連がロシアへ賠償要求

侵攻続けるロシアに「損害賠償を」 国連総会で採択、14カ国は反対

☰ ウクライナ情勢

2022年11月15日 7時36分

list



国連本部 = 2022年9月20日午後6時10分、米ニューヨーク、井手さゆり撮影

193カ国で構成する 国連総会 は14日、2月から ウクライナ 侵攻を続けるロシアに対し、損害賠償を要求する決議を賛成多数で採択した。日米など94カ国が賛成し、ロシアなど14カ国が反対、73カ国が棄権した。12カ国は投票しなかった。

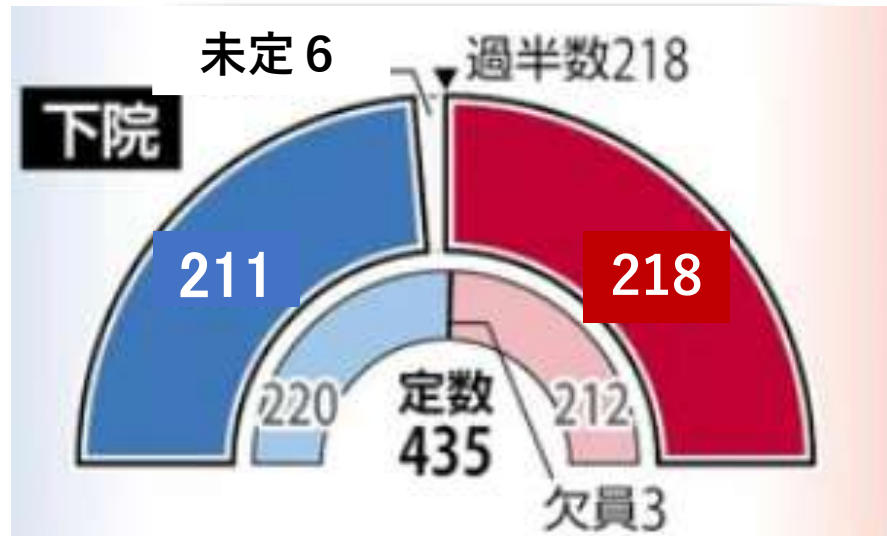
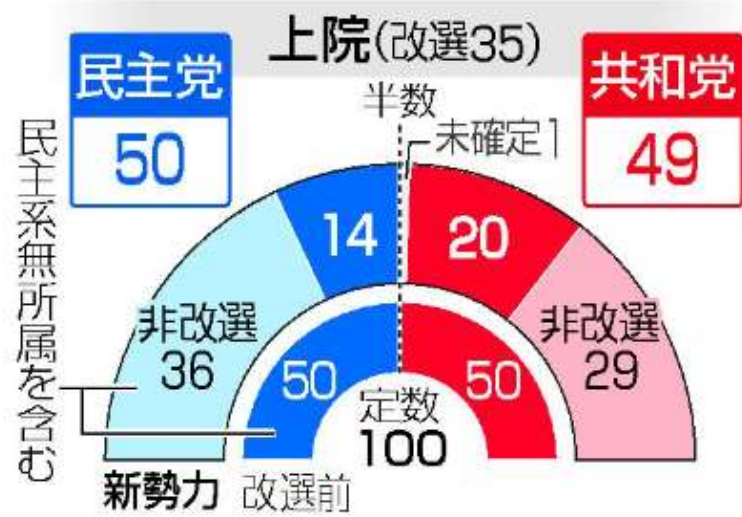
決議に拘束力はないが、採決前にロシアのネベンジャ 国連大使 が批判しており、ロシア側の反発は確実だ。

決議はロシアの国際人道法や 国連憲章 違反を指摘。損害賠償を含む法的責任を負う必要性を強調した。ロシアの攻撃によって生じた被害に対する賠償について「国際的な仕組み」を構築し、損害の記録をつけることも推奨した。

- 国連総会緊急特別会で採決
- ロシアの国際法違反と賠償を含む全ての責任を負うものとする
- 賛成94反対14棄権73
- これでロシアが賠償を行うわけではない
- ロシアは反発

アメリカ中間選挙続報

米上下両院の議席状況



【図解】米上下両院の議席状況 (日本時間 1 3 日午前 1 1 時半現在)

- なかなか決まらない議席
- 開票作業に手間取っている
- 開票状況が僅差の為確認に時間がかかる
- 一部の州では共和党が選挙のやり直しを主張



- MAGA派の人たち
- 予備選で反トランプ派は排除
- ここに来て反トランプが勢力拡大

民主、上院多数派を維持 バイデン政権、一定の成果—下院は共和リード・米中間選挙

2022年11月13日13時16分



13日、ブノンペンで、取材に応じるバイデン米大統領 (AFP時事)



【ワシントン時事】8日投票の米中間選挙は、12日までの開票作業の結果、与党・民主党が上院の多数派を維持した。就任後初の国政選挙で審判を受けたバイデン大統領は、上院を制したことで一定の成果を得た。一方、下院は野党・共和党がリードしており、過半数に迫っている。

「赤い波」不発、責任はトランプ氏に？ 党内で反発広がる

事前の世論調査では、下院は共和党優勢、上院は接戦が見込まれていた。しかし、民主党が予想外の健闘を見せ、バイデン氏は再選を目指す2024年大統領選に向けて求心力を保つ

た。一方、支援した共和党候補が苦戦を強いられたトランプ前大統領にとっては、再選戦略に狂いが生じた。

- 民主党大敗の予想は大きく外れ
- 共和党にとっては痛手
- 下院で予算等で圧力をかける
- 最高裁判事人事は上院
- バイデン大統領は共和党に歩み寄りを見せる

下院を共和党が握った

Gridlock 行き詰まり・立往生

- ねじれ議会となる
- 下院議長にはマッカーシー院内総務 ペロシ氏は引退
- 民主党の大きな政府 対 共和党の小さな政府
- インフラ投資やウクライナ支援など多額の支出
- トランプ氏の議会乱入事件特別委員会は解散へ
- バイデン大統領の次男 ハンター氏の疑惑
- 不法移民問題
- アフガニスタン撤退の不手際 等を追求するだろう

米アリゾナ州知事選でトランプ支持候補落選、「選挙否定派」に痛い敗北



米アリゾナ州の知事選では、民主党候補のケイティ・ホップス氏が共和党候補のケアリ・レーク氏を破って当選を果たした。レーク氏は2020年大統領選挙でのバイデン氏当選を認めない「選挙否定派」の中でも最も知名度が高く、今回の中間選挙で際立って手痛い敗北となった。

レーク氏は選挙運動中、前回大統領選挙でバイデン氏がアリゾナ州で勝利した事実を繰り返し疑問を唱え、自身が州知事であれば承認しなかったと主張。一方、当時の州務長官で投票を監督したホップス氏は、選挙は公正だったと反論している。

アリゾナ州では今年に入って選挙否定派の声が強まり、20年の大統領選では大規模な不正があったと根拠のない主張を続けるトランプ前大統領にとって特別に重要な州となっていた。

- ハイヒールを履いたトランプ落選
- 選挙否定派痛手
- 不正投票を訴える
- 州務長官も落選



- ペンシルバニア ミシガン
両州の知事選挙も
敗戦
- 共和党不振鮮明

今回の共和党不振の原因

- トランプ氏の求心力が低下したといこと
- 民主党の戦略
- バイデン大統領の支持率は36%程度
- インフレ問題などマイナス要因が大きい
- 共和党と対抗する為の戦術
- MAGA対民主党 ⇒ 民主主義の戦い
- 予備選挙の時にMAGA候補に有利なCMを流す
- 共和党の候補の多くがMAGAに

60億ドル以上

「お騒がせせしレブ」狙う返り咲き

トランプ氏、当選なら史上2人目

2024年の米大統領選への立候補を15日に正式表明したトランプ前大統領は、米議会で弾劾追放されたような重大な疑念を求め、幾多の不祥事を重ねながら、支持者の熱狂的な期待を背負ってきた人物だ。再び最高権力者の座を掴む手段として、改めて選んで可能性が問われる。

トランプ氏はニューヨーク生まれの富豪。1971年、父から不動産開発事業を引き継ぎ、ビル開発やカジノ経営で有名になった。PR戦略に巧み、不動産王と称された時期もある。大統領選出馬への意欲が



もしトランプ氏が当選すれば、約130年ぶり史上2人目

再選に失敗した大統領の返り咲きは過去に1人しかいない (歴代)

第21代	テスター・ムアサー
第22代	グローバー・クリーブランド (1895-99年)
第23代	ベンジャミン・ハリソン
第24代	グローバー・クリーブランド (1893-97年)
第25代	ウィリアム・マッキンレー
...	...
第44代	バラク・オバマ
第45代	ドナルド・トランプ (2017-21年)
第46代	ジョー・バイデン
第47代	????????

連続してはなし、2期

と引き換えに、日本やサウジアラビアなどに金を支払わされる「なごり特権を主張した。ただ、一般には「テレビタレント」「お騒がせレブ」として知られていた。複数回、米議会で弾劾されている。1975年の参議院弾劾は民主党で、ヒラリー・クリントン氏について「すばらしい大統領が副大統領になるだろう」と語った。そのクリントン氏と共和弾劾として戦うことになったのが、16年の大統領選だ。「政治家ではなくレブネスマン」としての自認が人々のこの共感を呼び、

本選でも勝った。大統領選中の17年1月からの4年間は貿易と移民問題を重視し、「米国籍第一」を前面に出して政策を押し進めた。「横断太平洋経済連携協定」(TPP)や地球温暖化対策の「パリ協定」、「イラン核合意」といった国際的な枠組みから相次いで離脱した。再選をめざした19年11月の大統領選でバイデン現大統領に負けたが「選挙に不正があった」と一方的に主張。17年1月の連邦議会選挙で、選挙不正の主張となった。2度にわたって米下院で弾劾追放された米大統領

としても歴史に刻まれた。大統領選後にも共和党内での影響力を保ち、中間選挙の候補者に推薦を出すことで求心力を高めようとしてきた。8877万人のフロワールを抱えていたツイッターは選挙当選事件の高潮に凍結されたが、SNS「トゥルースソーシャル」で日々発信している。大統領選に敗れた候補者が、再び立候補するケースは珍しい。ただ、再選を目指しながら落選し、4年後に再選した大統領が米歴史で1人だけいる。1880-90年代の第22、24代のグローバー・クリブランド(民主)だ。トランプ氏がその再現を果たすのか、世界が注目する。

【解説者】 ニューヨーク中央大

抱える疑惑「迫害」を演出

米連邦検察局(DOJ)の捜査をはじめ、数々の疑惑を抱えたまま出馬表明をしたのも例外だ。トランプ氏が以前に立候補を表明した際には、検察当局による起訴を恐れる懸念があることもみられていた。「米国の文明への畏れ」

別な疑惑は、国の外からではなく内からもたらされていく。最大の脅威は、FBIと司法省が司法制度を攻撃していることだ。トランプ氏は15日の出馬会見でもそう主張した。トランプ氏は非を認めず、検察局と真っ向から対立を

続ける。自らを「政治的な冤文狩り」で迫害される被害者だと演出し、支持者の共感を呼び、むしろ活発にしてきた面もある。トランプ氏が大統領選への立候補を表明しても、法的には起訴を妨げる規定はない。ただ、起訴に踏み切

トランプ氏、出馬表明

24年大統領選「米を再び偉大に」



トランプ氏

トランプ前大統領(右)が15日、2024年の次期大統領選への立候補を正式に表明した。16年の大統領

選以降、米国の政治や社会のありように大きな影響を及ぼしてきたトランプ氏だが、バイデン大統領の民主党が主催した中間選挙を前に、身内の共和党からも批判が噴き出している。今後、求心力を保持し続けるかが懸念だ。

トランプ氏はフロリダ州の自宅「マール・ア・ラージュ」に数百人の支持者を集め、「米国のカムバック(復活、再起)がいま始まる」と宣言。「再び偉大で偉光に満ちた国にするため、今夜、大統領選への立候補を表明する」と述べ、

▼3面＝青水の宣言 11面

＝選り抜き騒動



中間選挙 責任論も出る中…

速報

トランプ氏 大統領選に出馬表明

今後の共和党はどうなるのか

- トランプ元大統領が出馬宣言をする 異常に早い
- 訴追を受けている中で出馬することで牽制する
- 選挙戦の総括 不振に対する責任等には言及せず
- 共和党内の影響力は低下してる
- ペンス元副大統領は支持せず
- 娘のイヴァンカ氏も支持せず
- 出馬を期待されるフロリダ州知事デサンティス氏
- ミニトランプと言われる 今回は距離を置く

共和党の先が見えないわけ

トランプ氏が応援していた候補の動向

	勝利	敗北	未定	合計	勝率
上院	15	4	1	20	75%
下院	147	6	3	156	96%
知事	8	8	1	17	50%
全体	170	18	5	193	88%

敗北した数は少ない
が民主党との競合で
重要な所

NY州下院で共和党
が4議席/12議席

共和党内のMAGAの発言力が低下と言われる
しかしMAGA議員の数がこれだけある
投票要件に関しての権利を持っているのであなどれない存在

トランプ氏の
発言力は大きい

イランの動き

イランとロシア

- トランプ大統領の核合意離脱
- イランは経済制裁を受けている
- 国民は経済的にかなり困窮している
- 宗教家たちが富を独占していると見られている
- 同じ経済制裁を受けているロシアと繋がっている
- ドローンをロシアに提供という疑惑
- 実際にウクライナでイラン製のドローン残骸発見

イラン、高度な攻撃ドローン「アラシュ2」の供与を計画 ウクライナ軍

11/2(水) 20:16 配信 153



- 航続距離2000km
- 敵レーダーを感知して突入するタイプ
- レーダー網が無くなると制空権がロシアへ



(CNN) ウクライナ軍の情報機関は1日、イランが200機を超える戦闘用ドローン（無人機）をロシアに供与する計画だとの見解を示した。この中には、イラン軍が世界最長クラスの航続距離を誇る攻撃ドローンとうたう「アラシュ2」も含まれる。

【映像】イラン製ドローン、キーウ
ウクライナ国防省情報総局による
「シャヘド136」や「マハジエ

イランの場所が明かされていない地下に並ぶドローン。今年5月28日に画像を入手

いった戦闘用ドローン200機あまりをロシアに送る計画。

同局のSNSテレグラムへの投稿によると、これらのドローンの一部アストラハンの港湾に運ばれるとみられる。



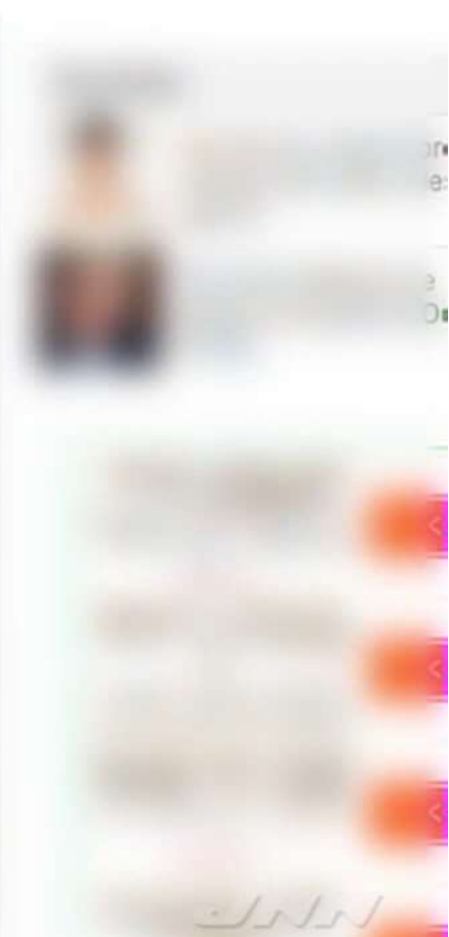
イラン 核開発をロシアに支援要請か

Russia's help to bolster its officials believe



By [Natasha Bertrand](#), CNN

Updated 9:42 AM EDT, Fri November 4, 2022



イラン、極超音速弾道ミサイルを開発 = 通信社

【ドバイ 10日 ロイター】 - イラン革命防衛隊の航空宇宙部隊司令官は、極超音速弾道ミサイルを開発したと表明した。同国のタスニム通信が報じた。

イランのミサイル能力に対する懸念が高まる可能性が高い。

同司令官は「このミサイルは高速で、大気圏内外を飛行できる。敵の高度なミサイル迎撃システムを標的にする」と述べた。

極超音速ミサイルは音速の5倍以上で飛行し、軌道が複雑なため、迎撃が難しい。

ただ、こうしたミサイルの試験がイランで行われたとの報告はなく、西側の軍事専門家はイランが兵器の性能を誇張することがあると指摘している。

もっとも、米国が2018年にイラン核合意からの離脱を決めた背景にはイランの弾道ミサイルに対する懸念があった。

- 極超音速弾道ミサイルを開発
- マッハ5以上
- 迎撃しにくい
- 核開発に伴い核兵器にも
- 拡大する核保有国
- ロシアとの接近が気になる

